

めぐみイエス・キリスト教会

2018年6月17日(日) 第三主日礼拝
週報「通算第410号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈祷会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年6月17日(第三主日礼拝)

午後6時～7時

司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈り】

【賛美Ⅰ】 新聖歌108「丘に立てる荒削りの」 p. 150

【交読文】 No.1 詩篇第1篇 p. 879

【賛美Ⅱ】 新聖歌235「罪重荷を除くは」 p. 356

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.2 「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書14章22節～26節(p. 192下段)

【祈 禱】

【説 教】 《主が共に住んで下さる人》 鈴木竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1 「イスカリオテでないユダ」とは？

※マルコの福音書3章16節～19節「十二使徒名の一覧」(新約p.63下段)

3:16 こうして、イエスは十二弟子を任命された。そして、シモンにはペテロという名をつけ、

3:17 ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ、このふたりにはボアネルゲ、すなわち、雷の子という名をつけられた。

3:18 次に、アンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、タダイ、熱心党员シモン、

3:19 イスカリオテ・ユダ。このユダが、イエスを裏切ったのである。

※ルカの福音書6章16節「ルカによる名の一覧から」 (新約p.109下段)

6:16 ヤコブの子ユダとイエスを裏切ったイスカリオテ・ユダである。

●ポイント2 「私の言葉(戒め)を守ること」とは？

※ヨハネの福音書13章34節～35節「新しい戒め」 (新約p.190下段)

13:34 「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

13:35 もしあなたがたの互いの中に愛があるなら、それによって、あなたがたが私の弟子であることを、すべての人が認めるのです。」

●ポイント3 戒めを守る為には？

※ヨハネの手紙第 I 4章7節～11節「ヨハネの理解」 (新約p.430下段)

4:7 愛する者たち。私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。

4:8 愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。

4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。

4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

4:11 愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです。

※ヨハネの福音書21章20節～24節「主が愛された弟子」(新約p.206下)

◎先週のメッセージの概要【私を愛する人には】

《イエス様は、やがてご自身が残していかなければならない十一人の弟子たちに、引き続き、励ましの言葉を語り続けます。

イエス様は、「その日には、私が父におり、あなたがたが私におり、私があなたがたにおることが、あなたがたにわかります。」と言われましたが、「その日」とは何時なのでしょう。それは、ペンテコステ(聖霊降臨日)のことです。

イエス様が、「私が父におり、あなたがたが私におり、私があなたがたにおることが、あなたがたにわかります。」と言われたことが、この時彼らに成就します。十一使徒たちは、ペンテコステの日に、主の預言を体験したのです。

次に「私の戒めを保ち、それを守る人は、私を愛する人です。」と言われましたが、イエス様の恵みを受け、聖霊を受け、油注がれ、力を受けた人であっても、イエス様の愛から離れて行く者が存在するのです。

それゆえ、イエス様は、私の愛の中に留まりなさい、と言われるのです。そして私の愛の中に留まることは、私の戒めを保ち守ることだと教えています。

それでは、私の戒めを守ることとは、どのようなことなのでしょう。

それはイエス様の言われたみ言葉に聞き従うことです。しかし簡単に従うと言いましても、たやすいことではないのです。なぜならイエス様の御心と私たちの思いがぶつかるからです。自分の意思を、押し通すのが人間です。

それだからこそ、主イエス様に「私もその人を愛し、私自身を彼に現わし」ていただく必要があるのです。主イエス様から、溢れんばかりの愛をいただき、愛されているからこそ、私たちは礼拝し、献金し、賛美し、主を誉め讃えるのです。主の愛は何時でも降り注がれています。その愛は無限です。主イエス様は私たちを本当に愛しておられます。ではどうしたらその愛をいただけるのでしょうか。簡単です。イエス様に求めることなのです。主は言われます。「求めなさい。そうすれば与えられます」と。だから求めるべきなのです。》

◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、6月24日(日)午前10時から行ないます。また聖書研究・祈禱会は、6月27日(水)午後6時15分です。6月20日(水)はお休みします。
2. 鈴木師は、6月18日(月)東京プレイヤーセンター昼礼拝奏楽(説教・尾山令仁先生)、6月19日(火)市川朝禱会において、奏楽と奨励を担当します。